
「アトピー性皮膚炎の重症度評価の補助に用いる TARC (thymus and activation-regulated chemokine) 測定試薬の妥当性確認の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で血液検査を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【総合医療センター研究倫理委員会】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

自施設の長の実施許可日～2026年10月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターに受診し、アトピー性皮膚炎と診断された患者さん、血液検査をされた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

TARC はアトピー性皮膚炎の重症度を示す指標として用いられる検査項目の一つです。

現在こちらの項目は外注委託検査のため、患者さんの手元に結果が届くまで時間を要します。今回の研究では TARC を院内で測定できるように検討を行います。そうすることで、より早く患者さんの手元に結果をお返しすることができます。

また、アトピー性皮膚炎と関係のある検査項目と TARC の関係性について評価いたします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年3月7日から解析等を行います。

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

TARC の検査依頼のあった患者さん・アトピー性皮膚炎患者さん、皮膚科以外の 20 歳以上の患者さんの検査終了後の血液を使用します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター中央検査部において、研究責任者である今瀬貴子が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

アトピー性皮膚炎と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた残余検体、検査データ及び診

療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・埼玉医科大学総合医療センター 中央検査部 今瀬貴子（研究代表者）
- ・積水メディカル株式会社 検査事業部 マーケティング部 マネージャー 齋藤 拓郎

4. 試料・情報の管理責任者

- 【埼玉医科大学総合医療センター】 病院長 別宮 好文
【積水メディカル株式会社】 検査事業部 マーケティング部長 小椋 洋石

5. 情報の提供方法等について

電子ファイルでの情報提供を行います。そのファイルは当検査部で、個人情報が見えない状態にしたデータファイルにします。個人が特定できないように加工した状態でパスワードをかけた電子ファイルを作成して共同研究者に提供します。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 中央検査部 担当；今瀬 貴子

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：049-228-3498（直通）（対応時間；月～金 8：30～17：30）

○研究課題名：アトピー性皮膚炎の重症度評価の補助に用いる TARC (thymus and activation-regulated chemokine) 測定試薬の妥当性確認の検討

○研究代表者：埼玉医科大学総合医療センター 中央検査部 今瀬貴子